

# 第61回展にあたって

新潟県中越美術教育研究会

会長 村山 裕之



第61回新潟県中越教育美術展へようこそお越しくございました。  
本美術展は、子どもたちの情操教育及び美術教育の充実と発展を願って開催している展覧会です。

今回も、中越地区を中心に全県下の保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校・特別支援学校・義務教育学校から14,466点もの多数の応募がありました。その中から、厳選された664点の作品を展示いたしました。

出品された作品は、どれも生き生きと躍動感にあふれ、体験で得た楽しさや喜び、発見した驚きなど、自分の思いをまっすぐに伸び伸びと表現した力作ぞろいです。

中でも、ここに展示されている作品は、ふと心がひかれるような魅力に満ちあふれています。色の美しさや技能の巧みさ以上に、自分の表したいことを創造性豊かに描ききっているたくましさが伝わってきます。

本美術展の第一次審査は造形教育を専門とする県内の教職員が行いました。また、二次審査においては、県内外の著名な大学の先生方をお迎えして、審査にあたっていただきました。心より感謝申し上げます。

東京造形大学 教授 山田 猛 様 【小5～6年、中1～3年】

上越教育大学 教授 五十嵐史帆 様 【3～5歳児、小1～2年】

千葉大学 准教授 佐藤 真帆 様 【小3～4年、特別支援】

最後になりましたが、当美術展の運営にあたり、ご後援くださいました新潟県教育委員会様をはじめ、長岡市教育委員会様、新潟日報社様及び関係者各位に厚く御礼申し上げます。